



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

東

上場会社名 荒川化学工業株式会社

上場取引所

コード番号 4968

URL <https://www.arakawachem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高木 信之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 延廣 徹 (TEL) 06-6209-8500

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	22,282	12.0	1,637	140.3	1,616	176.0	1,296	143.2
2026年3月期第1四半期	19,899	3.3	681	9.6	585	△27.4	533	△70.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,659百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △721百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	65.37	—
2026年3月期第1四半期	26.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	128,490	61,403	50.5
2026年3月期	126,059	59,240	49.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 64,937百万円 2026年3月期 62,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	27.50	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 創業150周年記念配当1円50銭

2027年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当26円00銭 創業150周年記念配当1円50銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	6.5	1,400	50.7	1,200	87.8	1,000	38.0	50.41
通期	87,000	5.9	3,300	32.0	2,800	17.1	2,250	2.2	113.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	20,652,400株	2026年3月期	20,652,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	813,671株	2026年3月期	813,671株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	19,838,729株	2026年3月期1Q	19,838,789株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続く一方で、世界経済は、一部の地域において弱さがみられ、中東情勢等を背景とする地政学リスクの一層の高まりや、中国における景気の減速、米国の通商政策をめぐる動向などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、2026年度よりスタートしました第6次中期5ヵ年経営実行計画（以下「第6次中計」）「V-ACTION for the Future ～心と技を磨き いのちと社会に輝きを～」のもと、中核方針として「事業ポートフォリオ改革の加速」と「生産性および資本効率の向上」を掲げ、挑戦・変革を通じた価値創造力の強化に取り組みます。また、キャッシュ創出を変革の軸とし、成長投資・人的投資・財務健全性・株主還元的好循環の確立により、中長期的な企業価値の最大化を目指してまいります。

業績面では、半導体、生成AI、データセンターなどの注力分野に関連し、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂、ハードディスク用精密研磨剤の販売は前年同期を大幅に上回りました。また、中東情勢の影響による顧客の在庫確保の動きを背景に前倒し需要が見られ、販売が増加しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は222億82百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は16億37百万円（同140.3%増）、経常利益は16億16百万円（同176.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億96百万円（同143.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<機能性コーティング事業>

当事業におきましては、スマートフォン、ディスプレイ関連分野での需要が好調に推移したことに加え、AIサーバー向け需要が想定を上回ったことで、機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂の販売が大幅に増加しました。また、フィルムコーティングを中心に各種用途で使用される熱硬化型樹脂も新規採用や拡販により販売が増加しました。

その結果、売上高は51億59百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は10億17百万円（同81.2%増）となりました。

<製紙・環境事業>

当事業におきましては、中東情勢の影響を受けて、板紙在庫を積み増す需要増により、国内の板紙の生産量は前年を上回る水準となり、紙力増強剤の販売が堅調に推移しました。また中国では、紙・板紙の市況の低迷によって、競争環境は厳しさが続くものの、需要の創出に注力しているアジア地域において板紙向け紙力増強剤の販売が好調に推移しました。

その結果、売上高は52億91百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は5億20百万円（同65.4%増）となりました。

<粘接着・バイオマス事業>

当事業におきましては、ロジン系の粘着・接着剤用樹脂は、国内および中国を中心に販売が堅調に推移しました。また、水素化石油樹脂につきましては、千葉アルコン製造株式会社は、中東情勢の影響を受けて、定期修繕からの稼働再開が遅れたことなどにより、稼働率は低調に推移したため、収益を押し下げました。

その結果、売上高は78億4百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント損失は2億63百万円（前年同期はセグメント損失2億74百万円）となりました。

<ファイン・エレクトロニクス事業>

当事業におきましては、データセンター向けの旺盛な需要により、ハードディスク用精密研磨剤の販売が好調に推移し、また、電子材料用配合製品と半導体関連先端材料のファインケミカル製品の販売も増加しました。

その結果、売上高は40億5百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は4億13百万円（同124.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ24億30百万円増加し、1,284億90百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が6億27百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が13億92百万円、投資有価証券が21億74百万円増加したことによります。

負債は、長期借入金が7億2百万円減少した一方で、繰延税金負債が8億90百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加し、670億86百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ21億63百万円増加し、614億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、足元の業績は想定を大幅に上回って進捗しているものの、現時点では、中東情勢の影響による原料および副資材の状況や顧客動向の変化を合理的に見積もることが困難であるため、従来予想を変更しておりません。今後につきましても、情勢の変化を注視し、第6次中計を推進してまいります。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,595	9,968
受取手形及び売掛金	25,847	27,239
電子記録債権	2,358	2,383
商品及び製品	13,351	13,581
仕掛品	1,412	1,629
原材料及び貯蔵品	10,306	9,914
その他	1,140	1,022
貸倒引当金	△114	△119
流動資産合計	64,897	65,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,130	18,135
機械装置及び運搬具（純額）	12,027	11,801
土地	5,017	5,014
建設仮勘定	1,026	937
その他（純額）	966	948
有形固定資産合計	37,168	36,837
無形固定資産	1,180	1,146
投資その他の資産		
投資有価証券	11,185	13,360
退職給付に係る資産	9,864	9,968
繰延税金資産	207	158
その他	509	455
貸倒引当金	△89	△92
投資その他の資産合計	21,678	23,850
固定資産合計	60,027	61,833
繰延資産		
開業費	1,134	1,035
繰延資産合計	1,134	1,035
資産合計	126,059	128,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,646	8,669
電子記録債務	1,134	1,158
短期借入金	22,716	22,726
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	473	564
未払消費税等	256	146
賞与引当金	1,370	739
役員賞与引当金	34	21
修繕引当金	971	1,084
事業整理損失引当金	62	62
設備関係支払手形	157	208
その他	5,287	5,780
流動負債合計	46,110	46,161
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	7,907	7,205
繰延税金負債	5,586	6,476
退職給付に係る負債	261	270
資産除去債務	1,842	1,864
その他	111	108
固定負債合計	20,708	20,924
負債合計	66,819	67,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343	3,343
資本剰余金	3,564	3,564
利益剰余金	41,829	42,629
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	47,524	48,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,507	7,038
為替換算調整勘定	5,174	5,558
退職給付に係る調整累計額	4,150	4,013
その他の包括利益累計額合計	14,832	16,611
非支配株主持分	△3,117	△3,533
純資産合計	59,240	61,403
負債純資産合計	126,059	128,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	19,899	22,282
売上原価	15,265	16,532
売上総利益	4,634	5,749
販売費及び一般管理費	3,952	4,111
営業利益	681	1,637
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	94	108
不動産賃貸料	14	14
為替差益	-	74
その他	68	98
営業外収益合計	201	318
営業外費用		
支払利息	112	128
投資事業組合運用損	-	75
為替差損	52	-
開業費償却	99	99
その他	32	36
営業外費用合計	296	339
経常利益	585	1,616
特別利益		
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産除売却損	5	33
特別損失合計	5	33
税金等調整前四半期純利益	580	1,591
法人税、住民税及び事業税	163	409
法人税等調整額	256	296
法人税等合計	419	706
四半期純利益	160	885
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△372	△411
親会社株主に帰属する四半期純利益	533	1,296

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	160	885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	335	1,531
為替換算調整勘定	△1,124	380
退職給付に係る調整額	△93	△137
その他の包括利益合計	△881	1,774
四半期包括利益	△721	2,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△194	3,075
非支配株主に係る四半期包括利益	△526	△415

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	580	1,591
減価償却費	1,318	1,226
開業費償却額	99	99
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△701	△634
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	10
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△100	△104
固定資産除売却損益 (△は益)	5	25
投資事業組合運用損益 (△は益)	-	75
受取利息及び受取配当金	△117	△131
支払利息	112	128
売上債権の増減額 (△は増加)	570	△1,233
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△84	54
仕入債務の増減額 (△は減少)	△791	△6
未払消費税等の増減額 (△は減少)	142	△18
その他	△747	328
小計	265	1,402
利息及び配当金の受取額	122	138
利息の支払額	△131	△142
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△500	△310
営業活動によるキャッシュ・フロー	△244	1,087
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	812	△170
有形固定資産の取得による支出	△890	△521
有形固定資産の売却による収入	0	4
投資有価証券の取得による支出	△12	△11
無形固定資産の取得による支出	△9	△25
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△2	76
その他	△22	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124	△701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,357	△40
長期借入金の返済による支出	△702	△702
配当金の支払額	△495	△495
その他	△3	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,156	△1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	60
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	666	△796
現金及び現金同等物の期首残高	6,434	8,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,100	7,617

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	6	6
計	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	22	19,906
セグメント利益又は損失(△)	561	314	△274	184	784	6	791

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	784
「その他」の区分の利益	6
全社費用の配賦差額(注) 1	80
コーポレート研究開発費用(注) 2	△119
営業外損益(注) 3	△71
四半期連結損益計算書の営業利益	681

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費用であります。

3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,159	5,291	7,804	4,005	22,261	20	22,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	6	6
計	5,159	5,291	7,804	4,005	22,261	26	22,288
セグメント利益又は損失(△)	1,017	520	△263	413	1,687	12	1,700

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,687
「その他」の区分の利益	12
全社費用の配賦差額(注) 1	189
コーポレート研究開発費用(注) 2	△121
営業外損益(注) 3	△129
四半期連結損益計算書の営業利益	1,637

- (注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。
2 コーポレート研究開発費用は、中長期での成長の源泉となる、報告セグメントに配賦しない新規研究開発費およびライフサイエンス事業関連費用であります。
3 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	3,543	2,790	2,684	2,343	11,362	15	11,377
中国	613	837	2,282	630	4,363	—	4,363
アジア(中国除く)	290	1,274	1,008	595	3,167	—	3,167
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	26	3	932	28	990	—	990
顧客との契約から生じる収益	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899
外部顧客への売上高	4,474	4,904	6,907	3,597	19,883	15	19,899

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	機能性 コーティング	製紙・環境	粘接着・ バイオマス	ファイン・ エレクトロ ニクス	計		
売上高							
日本	4,213	3,016	2,872	2,575	12,677	20	12,697
中国	562	763	2,769	614	4,709	—	4,709
アジア(中国除く)	383	1,510	1,146	777	3,817	—	3,817
南北アメリカ・ヨーロッパ・その他	0	1	1,016	38	1,057	—	1,057
顧客との契約から生じる収益	5,159	5,291	7,804	4,005	22,261	20	22,282
外部顧客への売上高	5,159	5,291	7,804	4,005	22,261	20	22,282

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産管理等を含んでおります。